

(1)事業の概要等

事業番号	B0301
実施計画事業	○
実施計画事業以外の事業	

令和4年度 事務事業評価シート

事業の概要	事務事業名	多文化共生推進事業					担当部			市民生活部		
	事業期間	平成14年度	～	令和6年度以降		担当課			多文化共生推進室			
	小牧市まちづくり推進計画(R1年～R4年)	分野別計画編	基本施策	3	展開方向	1	担当係			多文化共生係		
	予算区分	一般会計	款	2	項	7	目	3	大	3	中	1
	根拠法令・個別計画	小牧市多文化共生推進プラン					事業種別			一般事業		
	目的・成果 (何のために、どのような成果を期待するか)	国籍などにかかわらず、基本的人権を尊重しながらお互いに理解し、交流を深め、支え合い協力することで、日本人市民と外国人市民が活躍する多文化共生のまちを目指す。										
	対象 (何・誰を対象に)	外国人市民と日本人市民を対象										
	内容・手段 (目的達成のためにどのような事業を実施したか)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・多文化共生ワークショップ・セミナーの開催 多文化共生推進プランに基づくワークショップや、庁内の関係各課を対象にした研修会を実施し、多文化共生の推進に向けて情報を共有し、横断的に取り組みを進めた。(講師等謝礼:R3年度50千円・R4年度70千円)</li> <li>・行政文書等の翻訳 行政文書等の多言語化に対応するため、各課からの依頼を受け、翻訳を行った。(筆耕翻訳料:R3年度440千円・R4年度440千円)</li> <li>・外国語版生活情報誌「こまき」の作成・配布 外国人市民の生活に必要な情報を発信するため、5カ国語(ポルトガル語、スペイン語、英語、中国語、ベトナム語)及び「やさしいにほんご」の6種類の生活情報誌を月1回発行した。(委託料:R3年度12,222千円・R4年度12,600千円)</li> <li>・自動翻訳機等の活用 自動翻訳機やタブレット遠隔通訳サービスを利用して通訳が対応しない言語に対応した。(消耗品費:R4年度55千円、通信運搬費:R4年度52千円、使用料及び賃借料:R3年度48千円・R4年度385千円)</li> <li>・災害時外国人支援ボランティアの育成 防災意識の向上を図り、災害発生時に外国人とコミュニケーションが取れる人材を育成した。(委託料:R3年度200千円・R4年度200千円)</li> <li>・外国人集住都市会議への参画 市町村が抱える外国人市民にかかわる諸問題を検討し、国の関係機関へ提言を実施するなどの活動を行った。(旅費:R4年度450千円、負担金:R3年度160千円・R4年度160千円)</li> <li>・あいち医療通訳システムへの参画 医療通訳者の派遣や電話による医療通訳等を行った。(負担金:R3年度99千円・R4年度97千円)</li> <li>・その他(R3年度500千円・R4年度191千円)</li> </ul>										
受益者負担	無											

(2)事業費

事業費	項目	単位等	H30	R1	R2	R3	R4	
			直接経費	決算額	財源	一般財源	千円	11,323
			国・県支出金	千円	0	17	13	12
			その他	千円	0	0	1,260	560
			計(A)	千円	11,323	14,245	15,837	13,718
			対前年比	%	—	25	11	△ 13
			予算額	千円	11,960	20,992	17,093	15,770
			正規職員	人	1.18	1.07	1.90	1.90
			正規職員(平均賃金)	千円	8,833	7,985	14,223	14,223
			その他職員	人	0.00	1.87	2.80	2.80
			その他職員(時給×時間)	千円	0	4,922	7,537	7,567
			計(B)	千円	8,833	12,907	21,760	21,790
			事業費合計(C=A+B)	千円	20,156	27,152	37,597	35,508

(3)業績

展開方向における指標の推移			基本施策	3	展開方向		1
指標名	単位	方向性	基準値	R1	R2	R3	R4
1	外国人相談件数	件	↗	11,129	11,351	13,631	12,203
2	外国人市民向けHPの年間アクセス数	件	↗	2,614	3,993	9,892	13,099
3							

指標ほか		単位		H30	R1	R2	R3	R4
成果指標	多文化共生推進プランの達成率	%	目標	100	-	100	100	100
			実績	57.0	-	59.5	61.5	
	翻訳件数	件	目標	-	-	-	-	-
			実績	47	41	49	47	
活動指標	外国語版生活情報誌発行部数	部	目標	3,900	3,900	4,000	3,850	3,850
			実績	3,900	3,900	4,000	3,850	
	多文化共生に関する研修の開催回数	回	目標	2	2	2	2	2
			実績	4	4	4	4	
単事業あたり	受益者数(a)		人	-	-	-	-	
	受益者あたり事業費(=C/a)		円	-	-	-	-	

(4)事業の評価

事業の方向性	拡大	対象の拡大や手段の充実等により、事業のボリュームを拡大すべきもの		
事業の評価	事業の達成状況と課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>外国人相談件数が、令和2年度以降コロナ対応により急増した。このため、多い日は相談員2名で対応しきれず、他の職員も応援対応(R2年度実績633件、R3年度実績615件)した。これ以上の件数の増加は現体制では対応できない。</li> <li>市内在住外国人が多国籍化し、マイナーな言語を含め多くの言語への対応が必要となりつつある中、令和2年度より、外国語版生活情報誌にベトナム語版を追加し、生活情報の提供については、他の言語と合わせ、在住外国人の約88%をカバーしている。一方、外国人相談や庁内の手続きについては、通訳を配置して対応している言語(ポルトガル語・スペイン語・英語)により、在住外国人の約65%しかカバーできておらず、それ以外の言語は令和元年度に導入した自動翻訳機を利用して対応しているが、複雑な相談等への対応には対応しきれない場面もあった。</li> </ul>		
	今後の実施内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>相談件数の増加や、通訳が対応している言語以外の言語による複雑な相談に対応するため、令和4年度よりタブレット遠隔通訳サービスを導入し、利用状況や問題点を洗い出すとともに、保育園等の庁舎外での活用を進める。さらに、令和5年度より、ベトナム語の通訳を新たに雇用する。</li> <li>多文化共生推進プランに基づくワークショップや、庁内の関係各課を対象にした研修会を実施し、引き続き多文化共生の推進に向けて情報を共有し横断的に取り組みを進める。</li> <li>令和5年度に外国人集住都市会議の座長都市となり、大規模な会議を開催する必要がある。当該年度は、会議の開催に向け、資料や冊子の作成をはじめ、国や各都市・領事館等各方面との調整を行う。</li> <li>インフルエンサーの発掘を進め、外国人コミュニティと情報交換できる環境を整備する。</li> <li>外国人が多く就労している事務所の実態把握(外国人の就労計画や考え方など)を進める。</li> </ul>		
	事務事業評価による額	千円	節	細節